九州アジアン産業支援協同組合

つなぐ

アジブリ通信
2025年 5月
第９号

長崎レポート

いちご狩りを体験しました。いちご狩りを体験したのは、社会福祉法人あしたば会の潤心で働く３人です。

長崎県大村市にある「おおむら夢ファームシュシュ」で、2種類のイチゴ狩りの体験をしました。

あしたば会について

社会福祉法人あしたば会さんは、長崎県佐世保市吉井町の山々に囲まれた自然豊かな地域にあります。法人理念である「人間の尊厳と自律を守り、自分らしく生きることを支える」をもとにして職員一丸となってご利用者様のためにがんばっている、とのことです！！！

★あしたばの由来
「あしたば」とは、伊豆大島に分布する、「当日、葉を摘んでも翌日、芽生える」と言われるように生命力豊かな植物です。この「あしたば」のように、たくましく生きていけるようとの願いで名付けられました。

繊細な果物であるイチゴは、日本の技術でハウス栽培されています。イチゴの取り方をスタッフの方に教えてもらい、一つ一つのイチゴをハサミでカットしていきました。

収穫した分は買わなければいけないと聞き、山盛りすぎて少し心配したけど、大好きだから買いますとイチゴの山盛りを買っていました。

その後は、おまけに、アクセサリー作り体験をしました。九州アジアンの山下さんに教えてもらい、最近ブームになっているレジンを使ってのオリジナルのアクセサリーや、ネイルを真剣に作っていました。それぞれのセンスで素敵な作品ができました。

九州アジアンと提携している

インドネシア送り出し機関のご紹介

カルニアデワタ　介護に強い！

インドネシアの特集記事にあたり、インドネシア技能実習生＆特定技能の送り出し機関コーディネータとして東京で活動しております担当者が、独自の視点からインドネシア人材の魅力や強みをご紹介します。

神々の棲まう国…インドネシア。
でも、宗教に熱心な国だと、お祈りや食べ物など色々面倒では？と心配なお声もいただきます。
そこで、まずは神々の国ならではのお国自慢を。
①宗教心が生み出す多様性
インドネシアには5つの宗教が共存しています。例えば、バリ島の弊機関には主にヒンズーやイスラム、キリスト教の生徒が在籍しています。
それぞれの宗教を互いに尊重し合い、共に助け合って生活しているのです。その生まれ育った環境は現代の課題である「多様性を認め合う社会」に貢献しています。
起床、就寝、授業開始、儀式の開閉会、食事…折々でそれぞれの宗教作法で祈りを捧げます。
他宗教の祭日であっても、共に休暇を取ってお祝いします。
このように、他を認め尊重し合う精神があらゆる場面で培われるのです。

②宗教心が生み出す感謝の心
宗教を尊重するインドネシア人の生活は「祈り」の毎日です。起床から就寝までの折々で祈りを捧げます。それは、個人的な願望を届けるためではなく、ひたすらに「感謝」を届ける時間です。
自ずとインドネシア人は目上の人を尊敬し、衣食住すべてに感謝の心で向き合う精神が育まれます。

③協調性が生む順従さ素直さ
他を尊重し共存する生活では、我を通す強い自己主張は恥であると教えられます。
そして、目上の人や指導者には従順であるべく躾を受けます。
集団行動で求められる規律の精神、他と強調し合う精神は、５つの宗教が共存する多民族国家である
インドネシアだからこそ培われる特性であり魅力です。

（ただ…自己主張をしない美徳の反面、控えめであることから「消極的」な印象を持たれがちです。
場面によってはしっかり自分の考えを表現できる柔軟性がインドネシア人材にとって今後の課題です。）

以上、宗教にフォーカスしたインドネシア人材の魅力を紹介しました。

技能実習や特定技能として仕事をするにおいて、他と協調し共に成長する精神を持ち合わせているインドネシア人は日本でのかけがえのない存在価値となり得ます。

★教育愛に溢れた学舎★
では、弊機関の自慢＆強みをご紹介します。
弊機関は教育愛に溢れた学舎で出国まで育成することをモットーとしています。
単なる送り出しビジネスとして量産的に人材を送り出すことが目標ではありません。生徒たちの夢や希望に寄り添い、幸福な人生における大事なステップとして必要な育成をサポートすることが重要だと考えています。

弊送り出し機関のルーツはバリ島現地のホテルやレストラン従業員を対象にした日本語学校設立に始まります。
日本語をマスターした若者は、日本での仕事体験を夢見ます。そんな若者の願いを叶えるべく煩雑な事業資格免許の取得に奔走し、今の送り出し機関設立に至りました。
そのため、基本的な視点は人材育成です。
生徒の学ぶ環境を守り、ご縁あって受け入れてくださる日本の組合・企業様において心身ともに健康で充実した数年を送れるよう最善を尽くしてサポートいたします。

そのための試験対策はもちろん、日本文化や生活指導を担うのは、生徒個別の適正を分析し、効果的な指導を構築できる優秀な講師陣です。
また、安易な運営手法により生徒の経済的負担を招かないよう、経営努力と工夫も続けています。

このような教育愛を一身に受け育成された人材は、インドネシア人特有の「多様性を認め」「感謝を忘れず」「従順で素直」の精神で日本での仕事に向かい合います。
他国からの従業員と強調し、指導者に対し従順で、あらゆる場面で感謝を忘れず、様々な経験を吸収していきます。

将来は、日本やインドネシアの未来を担う、たくましい人材に育つでしょう。

若者の輝かしい未来は、我々の大きな幸せであり、更なる人材送り出しの糧になります。

神々の棲まう国、インドネシア人材の魅力を是非貴社で生かせるよう、ご検討をよろしくお願いいたします。

インドネシア特集、お読みいただき、ありがとうございました。
なお。冒頭の「宗教に熱心だとお祈りや食べ物、いろいろ面倒？」については、今のSNS時代…歴代の先輩や仲間から業務に支障来たさない解決方法が伝授されているようです。ご安心くださいませ。

新しい教育システム

「バリ島発・次世代を担う人材を育成する送出機関 LPK LINK ～eラーニングを活用した日本語教育の現場とは～」

Lpk　LINK

【インドネシア・バリ島の特徴】
インドネシアの観光地として絶大な人気を誇るバリ島。エメラルドグリーンの海が広がるビーチや歴史深い寺院、高級リゾートホテルなどが点在し、世界中から年間を通じて多くの観光客が訪れます。LPK LINKは、この美しく活気あるバリ島を拠点に、日本へ技能実習生や特定技能人材を送り出しています。

【ワヤン社長について】
皆さま、初めまして。
LPK LINK代表のワヤンと申します。

私は2013年から茨城県にて技能実習生として養鶏技術を学び、3年間の実習を修了して帰国しました。
そこで学んだ技術と日本の卵の美味しさに感動し、帰国後、実習生時代に貯蓄した資金を元手に両親と共に養鶏場を設立しました。

現在は、バリ島の日本料理店や外国人向けのレストランに卵を出荷しています。
この成功体験から、技能実習制度の素晴らしさを実感し、次世代を育成する送出機関 LPK LINK を設立しました。

【強み1：eラーニングを活用した入国前講習】
LPK LINKでは、IT技術を駆使した日本語学習システムを整備。日本語レベルチェックテストの結果に合わせて個別の学習コースを割り当て、プロの日本語教師が監修した教材を用いてレッスンを進めます。早い生徒であれば約2ヶ月半でN4レベルに達することも可能。
会話練習には先端技術としてChatGPTを導入し、1日1時間以上の対話練習を実施。教師はオンラインで各学習者の進捗をモニタリングし、苦手分野を即座にフォローする仕組みです。これにより、入国前からしっかりと日本語コミュニケーション力を養うことができるのがLPK LINKの大きな強みとなっています。

【強み2：配属後の日本語学習も無料】
入国後、実際に配属先の企業や職場で働き始めても、学習が途切れないようにするのがLPK LINK流のサポートです。携帯電話やタブレット上で使える学習アプリを3年間無料で提供。N4コース、N3コース、N2コースと段階に応じて選べるため、継続的なレベルアップが期待できます。
1日およそ10分で取り組める教材を1年間分まとめて用意しているため、忙しい実習生や特定技能者でも、仕事の合間や休日など隙間時間を活用しながら学習を続けることが可能です。さらに、技能検定に対応した教材も現在制作中です。配属後のフォロー体制を手厚く整えることで、技能実習生にとっても企業側にとっても安心な環境を提供します。

DAIMA AKADEMI NUSANTARA

アジアと長いおつきあい

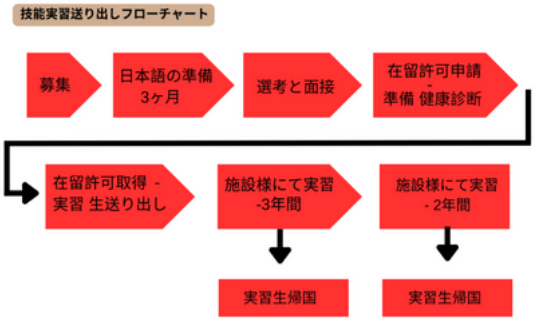
Daima　Akademi　Nusantaraは日本への実習プログラムと専門プログラムを中心とした職業訓練協会です。インドネシアと日本の二国間関係の基盤を築き、日本の先進産業におけるスキル開発やキャリア開発にインドネシア国民が参加できる環境を提供しています。

＜理念＞
実習生が十分な日本語を身につけ、プロフェッショナルに仕事を行えるような優秀な人材育成をすること。

＜特徴＞
・日本語能力を有する実習生の教育を支援する。
・受け入れ企業の必要なスキルに対応できる実習生を送る。
・５S（整理、整頓、清掃、清潔、躾）の姿勢を育む。

★日本語教育
N4習得までの期間を６か月としてカリキュラムを組んでいます。合格率は、N3:10%　合格N4:60%　合格N5:20%

★技能実習送り出し
＜分野＞
溶接/旋盤/木材/自動車工場/製造業/食品包装/食料生産/衣料品生産/畜産/農業/プランテーションなど
＜応募資格＞
1.19～30歳の男性と女性
2.最低限の教育はすべての専攻で高等学校、専門学校、職業訓練協会で最大3か月間の日本語トレーニングを完了する



～続き～

★介護プログラム

日本で介護士または看護師になるまで仕事の契約を続けることができるプログラム。

	介護	看護
教育要件	・看護学校・看護学士 ・非医療学：高校・専門高校の卒業生（高齢者を世話する実習を受ける）	看護学士
仕事の目的	社会福祉に関わり、食事や入浴や排泄などの高齢者の日常生活を支援する仕事	注射や注入や採血等、医療に関する仕事
国家試験を受けるための条件	・3年間の契約を完了 ・日本語試験の3級（中級）に合格 ※外国人の卒業率は60%	・3年間の契約を完了 ・日本語試験の2級・1級（上級）に合格 ・登録看護師の証明書を持っている ※外国人にとって卒業率は10%

★目標と実績

		取得した(2023年6月まで)		希望する（2023年末まで）	
職種	特定技能	介護		介護	
		外食		外食	
		農業		農業	
		畜産農業		畜産農業	
				飲食料品製造業	
	技能実習	介護	40人	介護	40人
		建設	86人	建設	80人
		農業	1人	農業	5人
		畜産農業	8人	畜産農業	5人
		飲食料品製造業	1人	飲食料品製造業	20人
		旋盤	5人	旋盤	5人
		製造業	1人	製造業	10人
		ビルクリーニング		ビルクリーニン	15人
		宿泊		宿泊	5人
		外食	4人	外食	20人
		溶接	5人	溶接	10人
		大工	2人	大工	5人
		縫製	17人	技能実習1年間	5人
	インターン	介護		介護	10人
		木材工業		宿泊	5人
		宿泊		飲食料品製造業	10人
		自動車製造業		自動車製造業	10人
				外食	10人

介護の分野だけでなく多くの分野で活躍する人材を送り出している。

建設に強い

ATC（Aichi Training Center）

LPK ATCは、2014 年に設立され、2022年２月にインドネシアで送り出し機関として本格的に業務を始めた会社です。インドネシアからの実習生、人材が、日本でのキャリアと教育において最高の機会を得られるよう、日本の多くの企業や機関と協力しています。

●代表
ワワン　ワヒュディ
●インドネシア在住のスタッフ
教育部門14名（うち２名は日本人教師）
手続き部門13名
●日本在住のスタッフ
千葉・愛知・熊本に９名
インドネシアの親会社と連携しながら、インドネシア技能実習生のサポートを行っている。

＜コミットメント＞

それぞれの学生が目標とする企業や機関の基準を満たすための日本語研修を受けられるようにします。さらに、日本での仕事の環境に備えるために、スキルトレーニング、文化的オリエンテーションなどを提供します。

2024年８月までに約1600人の技能実習生を日本に送り出しています。主な職種は農業、建設、食品加工、プラスチック成形、ホテル、介護、製造などです。

また特定技能の人材は、約280人を日本に送り出しています。主な職種は食品加工、外食、介護、農業、漁業、建設です。

ミャンマー・インドネシア
2か国弾丸視察ツアーに参加して

2025年2月2日から1週間、社会福祉法人善正会施設長の石井さんと株式会社トラネス社長の馬場さんの視察旅行に同行させていただきました。この旅のいろんな場面で見聞きしたことを、日本での介護事業にぜひ生かしたいという、福祉に携わるお二人の熱い思いが度々感じられ、そのような熱意を持った組合員の方々の力になりたいと思いを新たにしました。

ミャンマー訪問

福岡空港からミャンマーのヤンゴンに到着した次の日、送り出し機関Info Hub Myanmarの校舎を訪問しました。生徒たちは民族衣装を着て日本語を学んでいます。声をかけると少し恥ずかしそうにしながらも、一生懸命日本語で会話してくれます。どの生徒たちも礼儀正しく、ミャッ先生が日本語学習に加え日本の文化や礼儀作法も丁寧に教えていることがよくわかりました。

次に訪れた老人介護施設では、生徒たちが利用者の方々に寄り添い、食事介助を行う様子を見学し、学んだことを実践しようと頑張っている姿を見ることができました。

その後、親のいない子どもたちが暮らす障がい者施設を訪問しました。様々な障がいを抱えながらも、ニコニコ笑顔と歌声で私たちを迎えてくれた子どもたちと会い、言葉をかけ、手を触れると、人として何か彼らのためにできることはないだろうか？と心が揺さぶられました。彼らの未来、今の自分がなすべきことなど、思いを巡らせ、彼らの幸せを心から願いながら、施設を後にしました。

視察場所の行き帰りに車中から見るヤンゴンの街ではあちこちに袈裟姿の僧侶の方々の姿が見えます。そして巻きスカートのような「ロンジー」という民族衣装を身に着け、頬に「タナカ」(同名の植物から作った化粧品)を塗った老若男女が通勤・通学のためのバスを並んで待っています。道路ではスピードを出した車が挨拶するかのように互いにクラクションを鳴らしながら、右に左に車線変更しつつ、ゆっくり走る車の横を通り抜けていきます。信号待ちの時には飲み水のペットボトルや小さな花束を持った物売りの子どもたちが車に近づいてきます。彼らのことを案じつつも、異国に来たのだなあと改めて感じました。

観光名所でもある大きな寺院シュエダゴン・パゴダでは、煌びやかな建物と祈りを捧げる人々の姿が印象的でした。最終日の夜に、ライブ演奏のあるレストランに行った時に、中高年の方々が音楽に合わせて楽しそうに踊る姿を見ながら、日本の報道では伝わりにくい内戦下でのミャンマーの人々の明るく活気あふれる性質と、人々の暮らしの中の明るい面があることが垣間見られて嬉しかったです。

インドネシア訪問

ミャンマーからインドネシア・バリ島へ移動し、日本語学校や送り出し機関を視察しました。初めに訪れたカルニアデワタはバリ島の送り出し機関の老舗です。長年の実績と経験を基にした授業に加え、生徒同士のクロストレーニングもあり、能動的な学習を促す工夫が凝らされていました。次に訪問したLPK LINKでは、タブレットを活用し、生徒たちが各自のレベルに合わせて自分で学習を進めるという効率的な学習スタイルでした。AIを活用した会話練習も行われており、その効率的な学習方法に感銘を受ける一方で、介護などコミュニケーション能力が求められる分野においては、人間同士の対話練習も必要ではないかと感じました。しかしこれから先は介護の分野でもAI技術がさらに生かされていくでしょう。今後それぞれの送り出し機関による教育方法の違いが、どのような結果を生み出していくのか興味深いです。

視察の合間にキンタマーニ高原やウブドを訪れ、美しい自然や市場での買い物を楽しみました。伝統舞踊のバロン・ダンス鑑賞、露店販売のドリアンやヤシの実ジュース、ジャコウネコのコーヒー「コピ・ルアク」などを味わい、バリ島ならではの経験ができました。
日本で就労経験のある送り出し機関の先生たちとの食事会では、日本で働くという夢を実現するためにご自身が努力されたこと、日本で介護福祉士の資格を取得した経験や、帰国後の仕事についての話をお聞きできたことも大きな収穫でした。

（リポーター：奈良　真夕）

インドネシア豆知識

バリ人の名前
～名前でわかる！？家族構成～

バリ島にはカースト制度があります。名前を聞けば、その人がどのカーストなのか大体わかるようです。そして、その人が兄弟姉妹の中で何番目の子どもなのかがわかるんですって。

1.男性なら「I（イ）」、女性は「Ni（ニ）」を最初に付けます。
2.その次に、その子が何番目の子どもかで名前が決まります。

バリ人の90%を占める平民階級では…
1番目：Wayan（ワヤン）、Gede（グデ）、Putu（プトゥ）、Luh（ルー）
2番目：Made（マデ）、Kadek（カデ）、 Nengah（ヌガ）
3番目：Komang（コマン）、Nyoman（ニョマン）
4番目：Kutut（クトゥッ）

5番目の子どもはまた1番目の名前に戻り、6番目は2番目の名前にと続きます。
男女は特に関係なく（例外：Gedeは男、Putuは女）、生まれた順番に付けていくそう。
だから、バリ人にはワヤンさんが多いんですね～

例：イ(男性) ワヤン(1番目/5番目の子) スラスナ(個人名)

渡航のポイント

＜ミャンマーへの行き方＞
福岡空港～スワンナプーム空港(タイ、バンコク)～ヤンゴン空港(ミャンマー)
飛行機に乗っている時間は6時間+1.5時間だが、乗り継ぎや遅延などを含めると、約10時間ほど

＜インドネシア＞
　入国前にオンライン申請しておいた方が良いもの＞
e-VISA(電子ビザ) 渡航14日前から申請可能
50万ルピアをクレジットカードにて決済
ビザが発行されたら登録したアドレスにダウンロードできるリンクが送られるので、そこからダウンロードして印刷しておく。入国審査の時にパスポートともに使用する(いずれも顔認証の自動化ゲートでの読み取り)。
e-CD(電子税関申告)　入国日の2日前以降に申請可能
QRコードが発行されるのでスクショしておくと良い
SATUSEHAT Health Pass(サル痘流入防止を目的とした健康状態・渡航歴申告) QRコードが発行されるのでスクショしておくと良い。

介護事業所必見！！！

緩和されました！

≪外国人人材の訪問介護への従事について≫

・訪問介護等の業務の基本事項等に関する研修を行うこと
・一定期間、責任者等が同行する等により必要な訓練を行うこと
・キャリアアップ計画を作成すること
・情報通信技術の活用を含めた必要な環境整備を行うこと
・介護事業所等での実務経験が1年以上あることを原則とする
・訪問入浴介護については、職場内で実務に必要な入浴等の研修等を受講し、業務に従事すること

上記の条件の下で技能実習生及び特定技能外国人の訪問系サービスへの従事を認めるべきとの結論がなされました。

≪技能実習生の受け入れ事業所について≫

・法人の設立から３年間が経過している場合
・技能実習生に対する研修体制や職員、利用者等からの相談体制など同一法人によるサポート体制がある場合

上記の場合、技能実習生の受入れを認められることになりました。

ご興味のある方は九州アジアンにご相談ください！

Welcome to Japan

今期の入国データ
（２月～４月）

特定技能　５人
技能実習　１２人

3/21　海邦福祉会
技能実習生３名

2/2長崎市手をつなぐ育成会
技能実習生２名

2／28　敬昌会
技能実習生１名

4/4　長崎市手をつなぐ育成会就職
特定技能１名

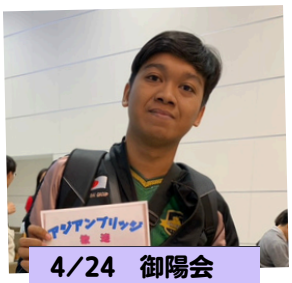
2／2
株式会社誠真
特定技能３名

アジブリが2024年度サポートした人数

特定技能実習の人材
→合計55名
技能実習生
→合計107名

2／28　杏風会
技能実習生４名

4/17　民生会
技能実習生２名



4/24　御陽会
特定技能１名

ミャンマー被災者への義援金募集のお知らせ

ニュースで報道されております2025年3月28日ミャンマーを震源とするM7.7の地震でミャンマー、タイの広範囲に被害が発生しており、多数の行方不明者と死傷者が発生しているとのことでした。ミャンマーの実習・特定技能の方は災害の連日の報道に、さぞ皆様お心を痛めていらっしゃることと思います。倒壊した家屋も数多くあるとのことで、被災地域の支援に義援金を送りたいと計画しております。
つきましては、ミャンマーの被災地の皆様のために、義援金の募集を始めましたので、お知らせさせて頂いております。

※集まった義援金は、現地日本語学校KAGAYAKIを通じて被災地の支援に使われます。

義援金口座
【お振込先】
銀行名:十八親和銀行
支店名:大村支店
番　号:店番401-口座番号3218799
口座名:九州アジアン産業支援協同組合
ミャンマー義援金